

令和 8 年度

第 1 回水戸市上中妻市民センター運営審議会

日	時	令和 8 年 6 月 15 日 (月)
		午前 10 時 30 分～
場	所	上中妻市民センター 集会室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 会長及び副会長選出

4 会長あいさつ

5 議 題

- (1) 令和 7 年度上中妻市民センター事業並びに利用状況について
- (2) 令和 8 年度上中妻市民センター運営方針及び重点目標について
- (3) 令和 8 年度上中妻市民センター事業計画について
- (4) その他

6 閉 会

上中妻市民センター運営審議会委員（任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日）

（順不同，敬称略）

役 職	氏 名	所属団体等
	齋藤 英二	上中妻地区住民の会福祉厚生部 部長
	市毛 正明	上中妻小学校 P T A 会長
	ワラス 綾	上中妻女性防火クラブ 会長
	舘 宏	上中妻地区高齢者クラブ連合会 会長
	大原 純子	上中妻女性防火クラブ
	大山知恵美	上中妻小学校 校長

上中妻市民センター職員（令和8年4月1日現在）

職 名	氏 名
所 長	関根 英紀
会計年度任用職員	佐川 好美
会計年度任用職員	鎌形 美恵
会計年度任用職員	大澤美智子

3 議題

(1)令和7年度上中妻市民センター事業並びに利用状況について

ア 市民センター主催による事業

事業名	講座名	講師 (敬称略)	開催日	会場	対象	募集 人数	参加 人数	参加費
女性教養 講座 (第1回)	ストレッチ& セルフマッ サージ教室	岡田 典子	令和7年 7月23日 (水)	上中妻市民 センター	成人女性	15 名	12 名	無料
青少年教育 講座	サマー スクール 絵画教室	田村 将吾 仙波 菜穂	令和7年 8月19日 (火)	上中妻市民 センター	小学全学年	20 名	6 名	無料
成人教育 講座	移動学習	—	令和7年 9月19日 (金)	栃木県益子 町, 真岡市	成人男女	30 名	13 名	無料
家庭教育 講座(家庭教 育強化事業)	親子であそぼ うふれあい教 室	十万 久美子	令和7年 10月7日 (火)	上中妻市民 センター	未就園児 とその保 護者	15 組	13 組	無料
家庭教育 講座(家庭教 育強化事業)	クリスマス 親子リトミッ ク	高橋 優子	令和7年 12月2日 (火)	上中妻市民 センター	未就園児 とその保 護者	15 組	14 組	無料
女性教養 講座 (第2回)	手作りチーズ 教室	市農業公社職 員	令和7年 12月10日 (水)	上中妻市民 センター	成人女性	16 名	16 名	2,000円
家庭教育 講座(家庭教 育強化事業)	子育て学習講 演会	鈴木 慶子	令和8年 1月30日 (金)	上中妻小学 校体育館	新入学児 童の保護 者	—	30 名	無料
成人教育 講座	みそ作り教室	長山 勝紀	令和8年 2月3日 (火)	上中妻市民 センター	成人男女	16 名	15 名	2,300円

イ 地区住民の会・市民センター共催による事業

事業名	開催日	会場	参加人数
移動研修（生涯学習部）	令和7年6月11日（水）	埼玉県川越市，茨城県常総市（道の駅常総）	33名
上中妻地区予選大会第62回お父さんソフトボール大会	令和7年6月15日（日）	大塚池公園野球場	中止
西部ブロック春季球技大会（ソフトボール）	令和7年6月22日（日）	田野市民運動場	上中妻地区 2チーム
移動研修（生活環境部）	令和7年9月3日（水）	東日本PETボトルMRセンター，陶芸の森公園	22名
上中妻地区市民運動会	令和7年10月13日（月）	上中妻小学校（校庭）	950名
西部ブロック秋季球技大会（ソフトボール）	令和7年11月3日（月）	田野市民運動場	中止
上中妻地区ふれあい祭り	令和7年11月9日（日）	上中妻市民センター	1,100名
地域環境実態調査	令和7年11月19日（水）	上中妻地区内	10名

ウ 地区高齢者クラブ連合会・市民センター共催による事業

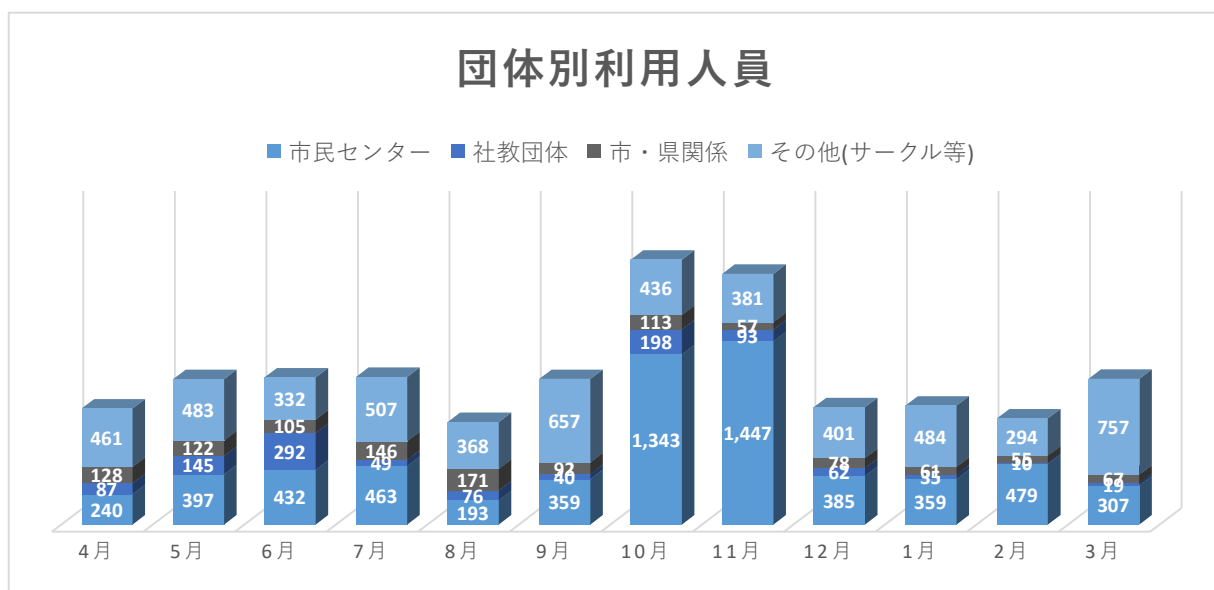
事業名	開催日	会場	参加人数
寿大学（第1回） 「楽しく元気に過ごすために ～フレイル予防（アイフレイル）～」	令和7年7月11日（金）	上中妻市民センター	32名
寿大学（第2回） 「なつかしい歌をうたおう」	令和7年7月25日（金）	上中妻市民センター	27名
秋季研修	令和7年10月23日（木）	東京都（渋沢史料館，六義園，湯島天神）	31名
高齢者スポーツ交流会	令和7年11月20日（木）	上中妻市民運動場	36名

エ その他

事業名	開催日	会場	人数 (未就学児)
子育て広場	毎月第1火曜日 (10:00～11:30)	上中妻市民センター	
	令和7年4月1日(火)		2名
	令和7年6月3日(火)		1名
	令和7年7月1日(火)		1名
	令和7年8月5日(火)		3名
	令和7年9月2日(火)		1名
	令和7年10月7日(火)		14名
	令和7年11月4日(火)		3名
	令和7年12月2日(火)		17名
	令和8年1月6日(火)		15名
	令和8年2月3日(火)		0名
	令和8年3月3日(火)		0名

オ 団体別利用状況

団体 年月		市民センター		社教団体		市・県関係		その他 (サークル等)		合計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和 7年	4月	25	240	5	87	9	128	46	461	85	916
	5月	37	397	5	145	8	122	49	483	99	1,147
	6月	40	432	6	292	7	105	38	332	91	1,161
	7月	41	463	6	49	9	146	46	507	102	1,165
	8月	18	193	4	76	9	171	40	368	71	808
	9月	36	359	2	40	6	92	47	657	91	1,148
	10月	38	1,343	10	198	8	113	44	436	100	2,090
	11月	35	1,447	6	93	5	57	44	381	90	1,978
	12月	36	385	6	62	6	78	42	401	90	926
令和 8年	1月	32	359	2	35	5	61	48	484	87	939
	2月	37	479	1	10	4	55	35	294	77	838
	3月	31	307	3	19	5	67	56	757	95	1,150
計		406	6,404	56	1,106	81	1,195	535	5,561	1,078	14,266

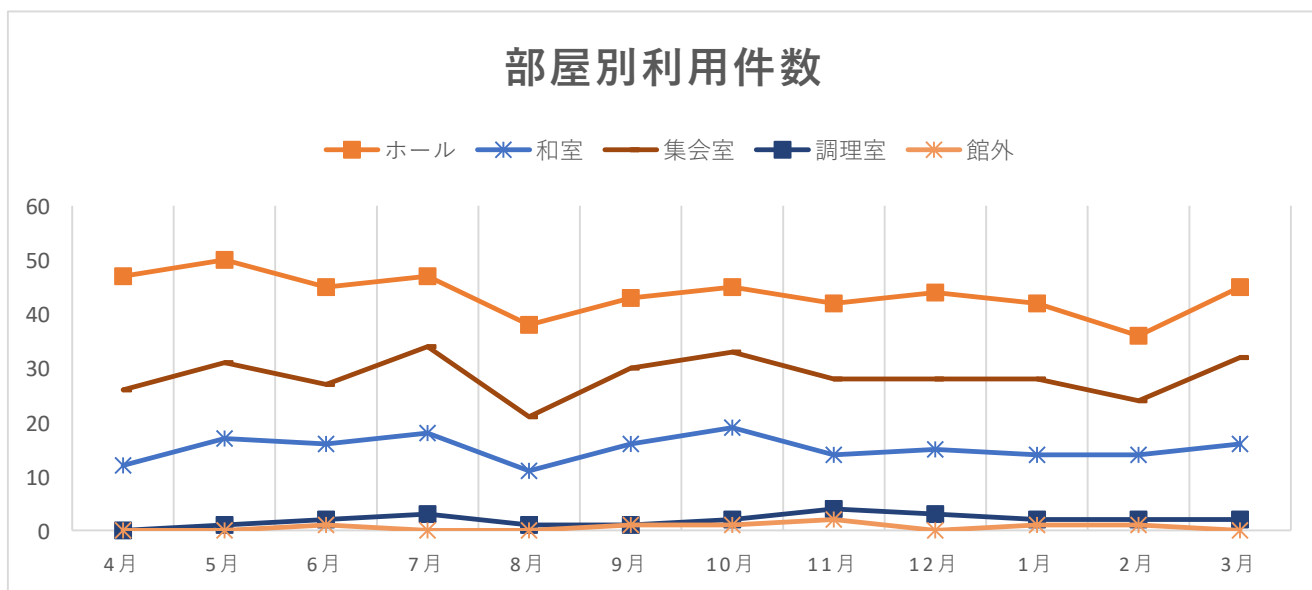


団体 年度		市民センター		社教団体		市・県関係		その他 (サークル等)		合計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和7年度		406	6,404	56	1,106	81	1,195	535	5,561	1,078	14,266
差		▲ 44	▲ 738	▲ 15	▲ 32	▲ 35	▲ 340	19	588	▲ 75	▲ 522
前年比		90.22%	89.67%	78.87%	97.19%	69.83%	77.85%	103.68%	111.82%	93.50%	96.47%
令和6年度		450	7,142	71	1,138	116	1,535	516	4,973	1,153	14,788

※各年度3月末現在

カ 部屋別利用状況

部屋 年月		ホール		和室		集会室		調理室		館外		合計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和 7年	4月	47	589	12	108	26	219	0	0	0	0	85	916
	5月	50	707	17	133	31	296	1	11	0	0	99	1,147
	6月	45	627	16	247	27	235	2	17	1	35	91	1,161
	7月	47	692	18	147	34	294	3	32	0	0	102	1,165
	8月	38	505	11	90	21	201	1	12	0	0	71	808
	9月	43	679	16	140	30	303	1	11	1	15	91	1,148
	10月	45	641	19	144	33	332	2	23	1	950	100	2,090
	11月	42	483	14	93	28	236	4	30	2	1,136	90	1,978
	12月	44	523	15	111	28	257	3	35	0	0	90	926
令和 8年	1月	42	542	14	102	28	241	2	18	1	36	87	939
	2月	36	397	14	98	24	194	2	28	1	121	77	838
	3月	45	760	16	120	32	250	2	20	0	0	95	1,150
計		524	7,145	182	1,533	342	3,058	23	237	7	2,293	1,078	14,266



部屋 年度		ホール		和室		集会室		調理室		館外		合計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和7年度		524	7,145	182	1,533	342	3,058	23	237	7	2,293	1,078	14,266
差		▲ 15	▲ 165	▲ 27	▲ 78	▲ 28	103	4	47	▲ 9	▲ 429	▲ 75	▲ 522
前年比		97.22%	97.74%	87.08%	95.16%	92.43%	103.49%	121.05%	124.74%	43.75%	84.24%	93.50%	96.47%
令和6年度		539	7,310	209	1,611	370	2,955	19	190	16	2,722	1,153	14,788

※各年度3月末現在

(2) 令和8年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、水戸市住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化改修を始めとした適切な施設の整備及び維持・管理に努める。

また、各市民センターのホームページの中で、地域情報を積極的に発信し、それぞれの地域の魅力向上に努める。

さらに、市民センター施設予約管理システムの円滑な運用に向け、利用団体や市民への周知・案内等の支援を行い、利便性の向上に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであ

ることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

(4) 地域における子育て支援

未来をリードすること子どもたちを温かく見守りながら、まち全体で育むため、市民センターにおいて「子育て広場」及び「こどもスペース」を設置し、地域における子育て支援に努める。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたＩＣＴリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、こどもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業についての自己評価及び運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(3)令和8年度上中妻市民センター事業計画について

項目 年月		地域コミュニティ活動の支援	生涯学習の推進		子育て 広場
		住民の会・地区高齢者クラブ連合会・各種団体との共催事業及び支援	一般教養講座	定期講座	(毎月第1火曜日)
令和7年	4月			・ライフコア教室 ・ヨーガクラブ ・卓球クラブ ・俳句クラブ ・太極拳クラブ ・パソコンBクラブ ・菓子づくりクラブ ・上中妻卓球クラブ ・郷土史研究クラブ ・歌謡クラブ ・フラワーアレンジメントクラブ ・革細工クラブ ・コーラスクラブ ・ピラティスクラブ ・囲碁クラブ ・スポーツ吹矢クラブ ・箏曲（輝）クラブ ・相撲甚句クラブ	7日 (火)
	5月	・各種団体定期総会 ・西部地区球技大会			
	6月	・お父さんソフトボール大会 ・生涯学習部移動学習			2日 (火)
	7月	・花壇コンクール ・寿大学① ・寿大学②	・女性教養講座		7日 (火)
	8月		・青少年教育講座		4日 (火)
	9月	・福寿のつどい	・家庭教育講座 (家庭教育強化事業)		1日 (火)
	10月	・市民運動会 ・高齢者秋季研修 ・西部ブロック球技大会			6日 (火)
	11月	・ふれあい祭り ・地域環境実態調査 ・高齢者スポーツ交流会			
	12月	・ユニカール	・家庭教育講座 (家庭教育強化事業) ・女性教養講座		1日 (火)
令和8年	1月		・成人教養講座（移動学習） ・家庭教育講座 (家庭教育強化事業)		5日 (火)
	2月	・地区防災訓練	・成人教養講座		2日 (火)
	3月				3日 (火)

市民センター利用における有料化について

1 現状と課題

市民センターは、地域コミュニティ活動や生涯学習活動などの拠点として、多くの団体に利用いただいております。

市民センターの運営に関わる経費につきましては、市費で負担していますが、物価高騰等の影響に伴い、施設の維持・管理に係る費用が増大している状況であります。持続可能な運営を図るためには、利用者からの一部負担も含めた検討が必要と考えております。

また、市民センターの利用に当たりましては、居住地に関係なく、無料で利用できることとなっていることから、市民の皆様が、希望する日にちや施設を利用できないことなども課題となっております。

2 有料化の概要

市民センターの持続可能な運用を図るとともに、市民の皆様にとって利用しやすい環境を整備するため、以下のとおり、一部の利用団体について有料化を検討しております。

項目	内容
対象	・団体構成員のうち、水戸市に居住する方の割合が「7割未満」の団体 ※水戸市に居住する方が「7割以上」の団体は、引き続き、無料で利用いただけます。 ※市主催の定期講座（教室・クラブ）及び教養講座は、居住者の割合に関わらず対象外。
開始時期	・令和9年4月利用分から
使用料	・「部屋の種類」や「時間帯」に応じて設定します。
支払方法	・利用予約の際に、クレジットカード決済での事前払いを基本とします。 ※クレジットカード決済ができない団体については、コンビニでの支払いでも可。
備考	・申請の際に、意図的に居住地を偽るなどの行為があった場合は、利用停止や罰則を科す場合があります。

3 スケジュール

時期	内容
令和8年 9月	・条例改正
〃 10月～	・利用団体や市民等へ周知
令和9年 1月	・団体登録や更新の申請受付開始 ・市民センターでの承認作業開始（使用料の対象となる団体を判断）
〃 2月	・令和9年4月利用分の抽選申込み開始
〃 3月	・令和9年4月利用分の抽選結果発表、予約受付・使用料の支払い開始